

第45回豊川市行政経営改革審議会 会議録

日時：令和4年9月27日（火）午前10時00分～11時00分

場所：豊川市役所 議会協議会室

出席者：

愛知大学教授 阿部 聖委員

豊川商工会議所専務理事 長谷川 完一郎委員

豊川青年会議所直前理事長 大石 宗弘委員

東海税理士会豊橋支部理事 乙部 享祐委員

連合愛知三河東地域協議会事務局長 酒井 雅喜委員

ひまわり農業協同組合総合企画部長 溝口 隆文委員

特定非営利活動法人メンタルネットとよかわ理事長 岡本 由紀子委員

豊川市社会教育審議会委員 山川 和明委員

愛知県社会保険労務士会会員 渡辺 裕一郎委員

公募 小林 尚美委員

公募 藤原 仁美委員

欠席者：

豊橋創造大学教授 見目 喜重委員

豊川信用金庫常務理事 曾田 光子委員

事務局：

総務部長、総務部次長、行政課長始め行政課員4名

**◎行政経営改革プラン2025取組状況の評価について**

会長

それでは、前回の審議会後に出た質問、意見について、事務局から説明をお願いします。

事務局

それでは、議題（1）「行政経営改革プラン2025取組状況の評価について」、御説明をさせていただきます。

まず、お手元の資料1「第44回行政経営改革審議会後における質問・意見について」を御用意ください。

皆様からいただいた質問のうち、一部を抜粋させていただいて回答の確認をさせていただきたいと思います。資料の一番左にありま

す通し番号を使いながら御案内をしてまいりたいと思いますので、よろしく申し上げます。

まず、1枚目のナンバー1から9までで「町内会加入の促進」に係る御意見、御質問を多数いただいております。

主な内容としては、最初の3つ、目標値を町内会加入率にすべきであるという御意見、6番、町内会費の金額について、9番、外国人向けの講座、出前講座による新たな加入の状況に関する御質問をいただいております。

まず1つ目については、担当課としては現状の加入世帯数を目標としたいとの回答でした。理由としては、目標値を加入率とした場合、分母となる世帯数が、世帯分離や施設等への入所で増加をした場合、分子となる町内会へ加入する世帯がその増加要因ではなかなか増加が見込めず、分母と分子で世帯の捉え方が異なることとなり、十分な評価ができないとの回答でした。

2つ目の町内会費については、年額5,000円以上1万円未満というものが全体の53%を占めている状況でした。

3つ目、外国人向けの出前講座開催に関する御質問につきましては、国籍別での町内会加入状況については現時点では把握をしていないという回答でした。

10番から12番まで「ボランティアNPO等の人材育成」について、大きく3つの御質問をいただいております。

そのうち10番、講座受講者がどのぐらいボランティアとして活動しているのか、11番、令和3年度実績が目標値を大きく上回っているため、目標値の変更を考えているのかといった御質問がございました。

まず、講座受講者のその後についてですが、ボランティア活動の状況についての把握のほうは行っていないという状況ですが、担当している市民協働国際課が設置していますICTボランティアへ登録された方が6人いたとのことでした。

次に、目標値の変更については、豊川市民協働推進計画の目標指標と合わせていること、講座開催ができない状況が生じることも想定されるため、現在の目標値の修正は考えていないとの回答でした。

続きまして、13番から16番までの「市民活動団体への支援」

について、3つの御質問をいただいております。

そのうち13番、内容が防災訓練に偏っている理由についての御質問をいただいております。これにつきましては、市民活動団体や町内会の中で防災に関する取組みのニーズや必要性が高いため、協働事業への提案につながっているとのことでした。

次に、17番から19番までの「地方創生に関する包括連携協定」について、大きく3つの御質問をいただいております。

そのうち17番、締結した企業は増加しているが、事業数が減少している原因は何かという御質問をいただいております。これにつきましては、締結時に行うとした事業が完了してきており、次の取組みに向けた庁内部局と締結団体とのマッチングをうまく確立できていないことが原因とのことでした。この件については、今後、協定の形骸化防止を図っていききたいとの回答を得ております。なお、この取組みについては、令和3年度連携事業実施実績一覧表を、本日追加で配付をさせていただいております。

28番、29番「リモート接続環境整備」についてですが、28番、環境整備と情報関連についての御質問をいただいております。

本市では、ノートタイプのクロムブックを導入し、在宅勤務でも職場と同じ環境で事務を行ったり、Zoomでのウェブ会議に参加したりできるようになっております。情報管理については、データをクロムブック本体に保存しない運用を行っていること、クロムブックの持ち出し手順を規定していることなどにより対応している状況です。

59番、60番をお願いします。「財務事務に係るリスク管理の推進」についてですが、59番、目標値を設定するに当たり、内部統制基本方針策定以前の本市における不備やミスの集計をしていないのかという御質問をいただいております。

過去については明確なリスク事案の基準が確立されていなかったこと、各課におけるリスク事案の取り扱いも異なっていたことから不備やミスの集計を行うことが難しい状況でした。そのため、まずは先進自治体の例を参考にさせていただいて、目標値を設定しているという状況です。今後につきましては、本市の実績に応じた目標値の設定をしていききたいと考えております。

76番をお願いします。「目標指標評価の取り扱い」に係る御質

問をいただいております。

この件につきましては、事務局からの御案内が少し不足していたと思われまます。昨年度の審議会においても同様の意見をいただき、前回、8月の審議会の中で配付をしました資料3-2を作成し、目標値の根拠や評価基準を設定させていただいております。その中で、御質問のあった○（目標値をおおむね達成した基準）を設定しております。御質問いただいた取組みについては、その範囲内であったため、今回の目標指標効果を○とさせていただいているという状況です。

以上が委員の皆様からいただいた御質問への回答の確認となります。

続きまして、各取組みに対しいただいた御意見について、説明させていただきます。

資料2の「具体的取組評価結果票」を御用意いただきまして、こちらには先ほど事務局から説明しました資料1の「意見」欄に記載のある審議会委員の皆様からいただいた御意見を「具体的取組評価結果票」の審議会意見欄に記載させていただいております。

いただいた御意見の一部を抜粋させていただきながら説明しますので、委員の皆様におかれましては、資料2の審議会意見欄の内容を御確認いただきながらお聞きいただければと思います。

取組ナンバー1「町内会加入の促進」には、多くの御意見をいただきましたので、審議会の意見として2ページに審議会からの意見を掲載させていただいております。

まず、目標値や世帯数については、「目標値について全世帯数に対する加入世帯が分かるように記載するとよい。」、「世帯増により加入、既存世帯の新規加入、世帯減による退会、既存世帯の退会を把握した上で対策を立てるべきではないか。」などの御意見をいただき、町内会の負担についても、「役員も順番に強制され、無償のボランティアのような仕事でありながら負担は大きく、苦勞している現状だが、コミュニティは重要だと思うので、よりよい活動のあり方を検討していただきたい。」などの御意見をいただいております。

続きまして、25ページをお開きください。

取組ナンバー8「AIなど情報技術利用による業務効率化の推

進」、こちらについては「働き方改革を進める中で、ルーチンワークの多い部署ではRPAの活用はかなり有効な手段であり、重点的に進める部署を絞り込んでモデルケース化し、成功事例をほかの部署に広げるのもよいと考える。」、「今後はAI等の推進は必要であり推進すべきであるが、①一度システム障害などが起こると多くの市民が困惑する②高齢者は急速な導入は戸惑ってしまう③デジタルだけでなくアナログでの人と人との出会いも大切という点も考慮して推進してほしい。」という御意見をいただいております。

続きまして、31ページをお開きください。

取組ナンバー11「多様な広報媒体を活用した市政情報の発信」には、「行政の広報活動はどうしても前例踏襲や保守的になりやすいので、若い職員によるSNSやインフルエンサーを活用しての広報など、これまでにない手法を用いるべきである。」などの御意見をいただいております。

続いて、取組ナンバー12「シティセールスの推進」には、「定住促進サイトについて、どのような人に見てもらい、移住してもらいたいかわかりにくかったため、移住を考えている人が活用しやすいサイトになるとよいと考える。」などの御意見をいただいております。

続きまして、43ページをお開きください。

取組ナンバー17「企業誘致の推進」には、「やみくもに都市圏の展示会で企業誘致をPRしても成果は見られないと考える。企業における事業の拡張計画や将来計画などの情報が企業誘致に重要となってくるため、まずは近隣企業との信頼関係の構築や情報把握が必要となるのではないかと考える。」という御意見をいただいております。

続きまして、61ページをお開きください。

取組ナンバー23「老朽化した市営住宅の整理統合」には、「民間の賃貸住宅も余っているような状況であるので、老朽化した市営住宅は取り壊し、民間の住宅を借り上げて活用するほうがコスト面からも優位であるのではないかと考える。」という御意見をいただいております。

続いて、取組ナンバー24「組織の適正化」には、「組織の危機管理とデジタル化は「今」を反映した組織改正だと考える。これら

	<p>が市民意識の評価につながるよう、どのように示していくかが課題である。」などの御意見をいただいております。</p> <p>取組ナンバー２５「定員適正化計画に係る取組の推進」には、「職員も業務により残業時間に大きな開きがあるので、業務と人員配置の平準化を進めるべきである。」などの御意見をいただいております。</p> <p>続きまして、７７ページをお開きください。</p> <p>取組ナンバー３１「時間外勤務時間数の縮減」には、「残業時間の縮減に関する周知だけでは効果が薄く、具体的に業務の効率化等などの施策を行わなければ実現は難しいと考える。」、「ノー残業デーを増やしたり、年次休暇の取得を推進しても、ほかの日に残業をしたり庁外で仕事をしては意味がない。本質的には、業務の効率化を図ること、人員を適切に配置すること（業務が増えることが予想される部署は時限的に増員するなど）を大胆かつ積極的に進めることが重要ではないかと考える。」などの御意見をいただいております。</p> <p>以上、いただいた御意見の紹介となります。なお、いただいた意見につきましては、取組担当課に伝え、現在実施中の令和４年度事業に反映する、もしくは令和５年度予算編成に反映するなど、必要に応じて今後の取組みや予算に反映してまいります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。事前に提出があった質問に対する回答、意見の紹介をしていただきましたが、事務局から追加で、確認していただきたい提案があるそうですのでよろしくお願いします。</p>
事務局	<p>今回、非常にたくさん御意見をいただいております、それぞれ皆様のお立場からの御意見だということで受けとめさせていただいております。</p> <p>その中で、資料２で、３３ページ、取組ナンバー１２「シティセールスの推進」というものがございます。これについて、まず会長に登録者の内訳はどうか、どのような情報を欲しがっているかなどの調査が必要ではないかという御意見をいただいておりますが、ニーズ調査の必要性についての御意見だと思っております。</p> <p>追加で、必要性に係る御意見があればお聞かせ、お教えいただき</p>

<p>会長</p>	<p>たいと思っております。</p> <p>SNSの登録者が増加しているということですが、どんな人が登録しているのかということが分かるかということと、内外の人たちがどのような情報を欲しているのかというのを調査する必要があるのではないかという意見を書きました。</p> <p>もう少し詳しく言いますと、SNSの発信という点で見ると、豊川市のFacebookは、他市と並んでよくできているかと思うのですが、その他が少し薄いかなというのが1つです。</p> <p>例えば、掛川市のLINEはかなり頻繁に、1日に3回、4回、毎日のコロナ感染者数から、いろいろな市の情報を発信していて、ちょっとうるさいけど悪い気はしない。催しもの、イベント、その他、市政に関する情報をLINEでちょっとブツッと鳴ると見えます。Facebookに同じような内容が恐らく載っているので、手段は多いほうがいいだろうというのが1点です。</p> <p>もう1つは、書いてあるように、どういう人たちがどんな情報を欲しているのかというのは、調査する必要があるだろうと思います。市に入ってくるいろいろな情報、市が発信しているいろいろな情報に対するリプライを、データを分析することが必要かなと思っています。</p> <p>あとは、なかなか難しいですが、市のホームページに入ると、例えばふるさと納税で、返礼品を出している企業につながる、あるいはインスタで発信するなど、きめ細かな発信というのでも調べてみて、その辺が気になったところです。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。LINEの活用であるとか、利用者の分析、登録者の分析については御意見があったことを担当課のほうに伝えさせていただきたいと思います。</p> <p>同じくこの「シティセールスの推進」の中、委員から様々な御意見をいただいております。</p> <p>定住促進サイトについて、どういう人に見てもらいたいのか、定住をしてもらいたいのかというのが少し分かりにくいのではないかと、いいサイトなので、もっと活用したらいいのではないかと、御意見をいただいております。</p>

委員	<p>あと、進学等で豊川市を離れる方もいると思うが、また地元に戻ってきてもらえるような、まちの魅力について、若い世代の方が非常に使っているSNSを通じて発信したらどうですかという御意見をいただいております。</p> <p>もう少し、御意見、思いみたいなものをお聞かせいただければと思います。</p> <p>やはり若い世代にもっと発信をしていって、これからを担っていく若い世代がまちづくりというものに、意識を向けていってほしいと思いますし、実際に自分の子供世代が、大学生になって県外にみんな出ていて、戻ってくるとかこないとかという、迷ったり考えたりする子供たちを自分の周りでも見ている、育った豊川に戻ってきて、豊川をいいまちにしていっていただきたいなという思いだけです。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>あと、資料2、41ページをお願いします。「とよかわ応援寄附金事業の推進」という取組みで、委員から返礼品のことで御意見をいただいております。</p> <p>いろいろな魅力的な返礼品が必要ではないかという御意見だと思いますが、ふるさと納税や返礼品について、もう少し御意見をお聞かせいただけたらと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>確か新聞で、東三河の返礼品のランキングがあって、蒲郡が結構多くて、それはおせちか何かでしたが、そこに対抗する必要は全くないと思うのですが、例で書かせていただいたラーメンなどは、豊川も実はレベルが高いというのがあって、例えばラーメンの話で恐縮ですが、宅麺という、冷凍麺で全国配送するというビジネスが始まっていて、今までカップラーメンだったのがインスタント麺になって、今、冷凍麺になって、そのまちに行かなくてもラーメンが食べられるみたいな、あるラーメン店の方が冷凍にしたことによって、その友人の全国の方々が買えるようになった、それがふるさと納税にあれば、もっとつながるのかなと思いました。</p> <p>なので、シティセールスではないですが、あるものを掘り起こし</p>



	<p>ていく、磨き上げていくというキーワードがあると思いますが、豊川にはきつとっぱいいいものがあるって、ものづくりでもあると思いますし、大谷翔平のバットをつくっている、あるいはオリンピックのたいまつもつくっていたり、ものづくりでも、大きなものづくりもあるし、小さな手仕事市みたいなことも豊川稲荷でやっていたりするので、そういったものを活用していただいて、豊川市を知っていただくということが必要ではないかなということで書かせていただきました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。いろいろないいものがあるということで、返礼品についてはまだまだ検討の余地があるということについて、担当課につないでいきたいと思います。</p> <p>最後、資料2で75ページをお願いします。取組ナンバー30「男性職員の育児休業取得率の上昇」です。</p> <p>これにつきまして、委員から、実際に取得する者ではなくて、その周囲の者にも理解を求めることが取得しやすい環境につながるのではないかとということで御意見をいただいております。</p> <p>周囲の理解という部分については本当に必要だと感じておりますが、追加で、この御意見の理由や何か事例みたいなものがあればお教えいただきたいなと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>理由は特にはないですが、私は取る側の年代になるのですが、取るに当たって、周りが取ってもいいよというような空気感があれば取りやすいのかなと。取りたくても仕事が詰まっていたり代替がきかなかったりというところで取りにくい、そこを周りがフォローしてあげられるような環境、意識というものがあると取りやすいのかなと感じたので、書かせていただきました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。これについても担当課に伝えていきたいと思っております。</p> <p>こちらから確認したいものについては以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。事務局から前回の質問の回答、御意見の紹介、委員の方々にさらにお話を伺ったということがあります</p>

	<p>が、全体として気がついたところから、委員の方々の御意見を伺えればと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>私から1つ、町内会の世帯の分母は、なかなか難しいので、分母を明確にする気はないみたいなことが書いてあるのですが、ホームに入っている、別れてその子供たちが隣の家に住んでいる、近くに住んでいるなどで、世帯が分割したり、あるいは一人暮らしをしたりということで世帯数は増えている。なかなか実態はつかめませんよでいいのですが、その上で、世帯数、加入世帯数がこれだけ増えましたよという話をしてくれると、聞いているほうが安心すると思います。率を出すのはなかなか難しいとしても、そんなやり方をさせていただけると、安心できるかなという気がします。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>同じく町内会の件ですが、そもそも何を目的としているのかというところが大事だと思います。目標を達成すればそれでいいではなく、加入促進のためには、皆さんが上げていただいた意見をもう少し組み込んで考えていただく必要があるのではないかと考えます。</p>
会長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>町内会の加入についてアドバイザー事業というのがあったと思います。私もホームページで取組みを見させていただいたのですが、それぞれがすごくいい取組みをしていて、参加したのは役員さんたちだと思いますが、その方たちは町内会の意味をとて理解して、次へつなげていこうという思いはあったと思いますが、現実問題として、アドバイザー事業というのは継続してやられているのか、その成果がどうかというのが、もし分かったら教えていただきたいなと思いました。</p>
事務局	<p>継続はしているとは思いますが、どのような成果があるかについては、確認をさせていただきたいなと思います。</p>
会長	<p>今後、そういう資料も出していただけるようにという御意見として、伺っておきたいと思います。</p>

<p>委員</p>	<p>他に、いかがでしょうか。</p> <p>豊川市だけではないですが、今一番大問題かと思うのは、少子化です。子供が減って、人口が減ったら、何をやるにも税金も入らないし、行政もできなくなる、そうなると、行政もつぶれるかもしれない。それから、单身の方もたくさんいる。私が書かせていただいたのは、育児休業とか時間外ですが、例えば、第二子か第三子が生まれたら御褒美をあげるというような、独自の豊川市の取組みをやっているかいないと、結局は人口が減って、活性化もできないと思います。そういうことを取り組んでいますと発信するだけでも、こんなことをしてくれるのか、豊川市に住んでみたいと思ってもらえると思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。子育て支援だとか少子化対策をもっと積極的に発信をしてということだと思います。</p> <p>他にいかがでしょう。</p>
<p>委員</p>	<p>町内会とは関係ないですが、女性活躍推進法が4月に改正されていると思いますが、今後、人口が減っていくとそういう活用も必要かと思いますが、この中には載っていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>プランの中では、女性の活躍につながる取組みは入っていないという状況です。</p>
<p>委員</p>	<p>今後は、載ってくるというお考えはあるのでしょうか。なかなか一般企業には伝わっていないところはあるのですが、リードしていただかないといけない立場でもあるとは思っています。</p>
<p>事務局</p>	<p>プランについては、令和7年度までが期間にはなっておりますが、重要な問題であるという認識はあります。今回、プランを作成するに当たって、SDGsのところについても意識をしながらプランを作成している部分がありますので、今後、見直しの中で、その部分については検討が必要かと思っております。</p>

会長	他に、いかがでしょうか。
委員	<p>広報活動の中で、住民を増やす話が出ていますが、豊川市は愛知県の中でも唯一人口が増えているという話を聞くのですが、その要因としては、例えば名古屋や東京に働きに行くために住みよいまちづくりみたいな話で、住民がその住みよいところに行こうかな、住もうかなという話の選択になるのかと思います。実際、豊川は名古屋に通う人が多いのか、それとも豊川に企業、働く場所があるので人口が増えているのか。そうすると、企業誘致から人口を増やそうとする論点なのか、名古屋に通うために住みよいまちづくりをしようとするのかがどうなのかというところと、もともと愛知県が製造業のまちというところもあるのですが、今後製造業がどれだけ伸ばしていくのかを考えたときに、次の新しい企業、イノベーションのようなソフト面の企業を誘致していくような考え方をしているのかどうなのか。豊橋に行くと水上ビルあたりがそういうところをしかけていると思いますが、豊川市としてそのような動きをする方向があるのかどうなのか。</p> <p>まちづくりで、公園のところでコーヒーショップを出すみたいな話があったと思いますが、そういうコーヒーショップと図書館を他に外注することによって文化的なエリアをつくりながら住みよいまちづくりを考えていく、それと広報がどのように結びつけていくのか分かりませんが、御意見として上げさせてもらいます。</p>
会長	ありがとうございます。他にいかがですか。
事務局	<p>先ほど御意見で、町内会加入を促進するということが大切ではないかという御意見をいただいております。担当課としては加入率を目標にすることは難しいという回答でしたが、次回以降、加入率などの部分については、できる限り表示ができないかという投げかけを再度、担当課にもしていきたいと思います。</p> <p>町内会のアドバイザーについては、今年度も実施をしているという状況が分かりましたので、あわせてお伝えをいたします。</p>
会長	ありがとうございます。今日の御意見、追加の御意見について

事務局	<p>は、事務局で適宜、追記するなどしていただくということになると 思います。</p> <p>本日の議題は以上になりますが、最後に事務局から連絡をお願いします。</p> <p><b>◎その他</b></p> <p>事務局から連絡事項 3 点。</p>
-----	---